



【第3報（終報）】

信濃川における油流出事故の対応状況

信濃川河川事務所は、信濃川水系西川の燕市大川津において、8月2日油膜を発見した油流出事故について、信濃川河川事務所河川水質事故災害対策支部は、同日10時45分に水質事故災害の注意体制を発令し、対応していました。

8月3日 11時25分、河川巡視の結果、油膜発見箇所から約1 km下流の西川新橋において油膜は確認されなかったため、11時30分に水質事故災害の注意体制を解除しました。

8月3日11時30分現在

※下線部は前回までの発表からの変更・追加点

1. 概況及び対応

8月2日

- | | |
|---------|--|
| 10時05分頃 | 信濃川水系西川の新潟県燕市大川津地先*において流木作業撤去中に油膜を発見。
※信濃川大河津分水路右岸（－1.5k）西川導水門付近 |
| 10時45分 | 信濃川河川事務所河川水質事故災害対策支部は水質事故災害の注意体制を発令 |
| 10時45分 | 現地の巡視を開始した。
油膜の原因、及び対応策について検討中。
信濃川水系水質汚濁対策連絡協議会を通じて、水質事故の情報を下流域の利水者に共有した。 |
| 11時00分 | 油膜発見箇所に吸着マットを4本設置した。 |
| 11時47分 | 油膜発見箇所から約1 km下流の西川新橋までの間を巡視したが、油膜は確認されなかった。 |
| 14時05分 | 発生原因であるエンジンオイル缶（最大4L）を回収した。
周辺を潜水確認した結果、その他の原因物質は無かった。 |
| 16時00分 | 油膜をバキュームで回収した。 |
| 16時20分 | オイルフェンスを設置するとともに吸着マットを回収した。 |

17時05分 オイルフェンスを存置の上、西川への注水を再開した。
18時15分 油膜発見個所から約1 km下流の西川新橋までの間を巡視したが、油膜は発見されなかった。

8月3日

8時10分 油膜発見個所から約1 km下流の西川新橋までの間を巡視したが、油膜は発見されなかった。

11時00分 オイルフェンス・吸着フェンスを回収

11時25分 油膜発見個所から約1 km下流の西川新橋までの間を巡視したが、油膜は発見されなかった。

11時30分 信濃川河川事務所河川水質事故災害対策支部は水質事故災害の注意体制を解除

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ
長岡市記者会、長岡地域記者会
三条市記者室、業界紙

【問い合わせ先】

北陸地方整備局信濃川河川事務所
副所長 内藤 和久（ないとう かずひさ）
電話：0258-32-3020